

特集

旅で人は強くなる。やさしくなれる。
人生を豊かにする旅。

azbil
FIELD

- ・大塚浅見ビルディング
- ・アクアプラネット済州
- ・アズビル金門和歌山株式会社

azbil
MIND

2社の強みを統合しグループのフロントエンド技術商社として
さらなる付加価値をお客さまに提供

Keyword
AtoZ

凍結乾燥



What makes me happy is to
watch T.V.



「外国人と日本を旅する【地球探検隊】バスツアー」の様子。バスには外国人観光客と日本人が並んで座る。様々な国籍、幅広い年代の人が一緒に行動するユニークなツアーだ。

一昔前までは、海外旅行といえば一大事だったが、今は旅行に必要な情報を簡単に入手できる上、旅行会社が様々な手配をしてくれるため、グッと身近なレジャーとなった。

ところが、旅が手軽になり、快適さが約束されるようになるにつれ、感動は薄れてしまっていないだろうか？

そんな問題提起をし続ける、一風変わった旅行会社が、エクスプローラ『地球探検隊』だ。

代表取締役“隊長”の中村伸一さんに話を聞いた。



親子の絆を深める旅、企業研修にも絶好のジープ島。ミクロネシアにある直径わずか34mの小島で、定員わずか15人。イルカが寝る海と満天の星に人生観が変わったという人も少なくない。



旅で人は強くなる。やさしくなれる。

人生を豊かにする旅。

株式会社エクスプローラ『地球探検隊』
代表取締役隊長

中村伸一さん

1961年東京都生まれ。観光専門学校卒業後、国際体験プログラム代行会社に勤務。96年、株式会社エクスプローラ設立。『地球探検隊』のブランド名で世界各国の「多国籍ツアー」の予約・販売をしている。渡航国は50カ国以上の旅のプロ。『地球探検隊』メールマガジンの配信やブログの執筆、講演活動等も精力的に行っている。
<http://www.expl.co.jp/>



「大人の修学旅行」での人気企画「内モンゴル騎馬遠征隊」の様子。大草原を馬で駆け回ることができる。ごくシンプルな暮らしの中で、本当に大切なものに気づくことが多いという。



少年のような笑顔が印象的な中村さん。ツアーに同行する際には自分が一番楽しんでしまう。それが参加者が積極的に楽しみ始める呼び水になるという。

居心地のいいところから飛び出す それが人生に必要な「冒険」

旅は自分で考えて主体的に 行動して創り上げるもの

エクスプローラ「地球探検隊」が扱う旅は、「どこへ行って何をみるか」ではなく、「誰と一緒に何が出来るか」に比重を置いた体験型の旅である。旅でひととき面白いと感じる瞬間、いつまでも心に強く残る出来事は、誰かと何かをした体験だ。とりわけ予想もしなかった状況で問題をクリアしたときの達成感は大きな感動となり、かけがえのない思い出になると、中村伸一さんは話す。「私は“旅行”と“旅”を分けて考えています。

多くの場合、ツアーメイトの共通語は英語となるのに加え、比較的内向的な国民性の日本人にはハードルが高い内容のようにも思える。しかし、中村さんは言葉の問題は気にする必要がないと強調する。大切なのは自分の殻にこもることなく、ありのままの自分をさらけ出すことだ。「もちろん英語が堪能なら、自分の意思を明確に伝え、スマートに自己表現できるので、英語が苦手な人よりも快適に過ごせる可能性が高いでしょう。ただし、いくら会話が円滑であっても、本音でぶつかなければ本当の意味で理解し合うことはできません。



グランドキャニオンで元気にジャンプ。

でも、それは自慢できる能力だと思っています。旅でそんなふうにあのまの自分をさらけ出しているツアーメイトを見たときは、カッコいいなあと感じます。そして、思わず



ツアーの写真には生き生きとした参加者の姿が目立つ。



1つひとつのエピソードを思い入れたっぷりに語る中村さん。



外国人とのバスツアーは、日本人が日本を見つめ直す機会にもなっている。

旅行は誰かに連れていってもらって受動的なもの。それに対し、旅は自分で考えて主体的に行動する能動的なものであり、旅人本人で創り上げなければ生まれないもの。当社は旅だけを専門に扱っています」

「多国籍ツアー」は同社のポリシーが色濃く反映された海外の旅だ。世界中から募った参加者が現地集合・現地解散する。旅の内容は、「アメリカ大陸をキャンプしながら横断する」「ペルーのマチュピチュ（インカ文明の遺跡）までトレッキングする」といったアドベンチャーツアーだ。15人前後のツアーメイト（参加者）で催行されることが多く、全員で寝食を共にしながら、3日間から長ければ2カ月近くも旅を続けていく。

ん。逆に会話力に頼れない状況は、本音でぶつかり合えるチャンスです。言葉で武装していない気持ちを伝え、素の自分をさらけ出せば、相手も心を開いてくれる。すると、途端に打ち解けることができます」

これは中村さん自身が20代前半で旅したときの経験に基づく。素の自分をさらけ出すことで相手との距離は一気に縮まる。それは「カッコ悪いことではない」と気づいた。「ぼくは今うれしいとき、悔しいときはボロ



ボリビアのウニ塩湖で撮ったトリック写真。

もらい泣きしてしまいますね（笑）」

中村さんが提案する旅は冒険と呼ぶべき不確定な体験型の旅だ。そのあり方は座右の銘として掲げる「Out of Comfort Zone」に象徴されている。人は誰でも心に安心・安全領域を持っている。それは家族、恋人、気の置けない友人など様々だ。そこは居心地が良いが、漫然とどまっていると、いつか単なるぬるま湯になってしまい、安心・安全領域の素晴らしさを見失ってしまう。だから、その領域を抜け出す冒険が必要だ。「冒険の旅に出ると、痛い目に遭うこともあります。でも、その失敗や困難に成長の芽があり、歓喜のきっかけがあります。勇気ある一歩を踏み出し続けていくことが、中身の濃い人生を形づくっていくのではないのでしょうか」

ひとりでも多くの日本人に 旅で元気になってもらいたい

中村さんには迷った時期もあった。21歳で、最も歴史のある多国籍ツアー「トレックアメリカ」を扱う旅行会社に就職。その魅力を伝える仕事に没頭していた。しかし、23歳で結婚したものの、翌年に離婚。ほどなく心の師匠と敬愛していた祖父がガンで他界した。離婚の事実を知らずに「夫婦仲良くやれよな」という遺言をした祖父に、申し訳ない気持ちが膨らんだ。配偶者とその家族、友人を悲しませ、祖父の遺言を守れなかった自分を責めて自暴自棄になり、25歳で会社を辞めて放浪の旅へ出た。現実逃避だった。

しかし、この旅が中村さんを救った。「オーストリア・ウィーンで、数カ月前にトレックアメリカに送り出したお客さんに偶然再会したんです。彼女のひと言が、自分には何の価値もないと思い詰っていた私の心を一変させてくれました。

——中村さんはいい仕事をしていますよ。私はあの旅に出る前よりも自分を好きになることができました。あんなに泣いたり笑ったり感情が揺れ動いた経験はなかった。私みたいに、旅をきっかけに元気になれる日本人をひとりでも多く増やして、日本を元気にしてください！——

このひと言で、自分の中にブレない軸ができました。旅は人を元気にして、日本を元気にすることができる。平和産業である旅は世界の平和にも寄与できると。再び会社に戻り、もう迷いなく仕事に打ち込みました。そして、さらにひとりでも多くの人に旅へ踏み出す勇気を持ってもらおうと、33歳で起業しました」

エクスプローラ「地球探検隊」では多国籍ツアーと並んで「大人の修学旅行」も人気を集めている。これは世界平和を願う気持ちから誕生したといっても過言ではない。2001年9月11日のアメリカ同時多発テロ発生後、旅行産業は急激に落ち込んだ。特にアメリカへの渡航者は激減し、航空会社やホテルは甚大なダメージを受けていた。長く世話になってきたアメリカに対してできることを中村さんは模索した。



ペルーのマチュピチュまでトレッキングを行った「大人の修学旅行」。標高2,400m以上に位置する空中都市まで、自分の足でたどり着くから感動もひとしおだ。



スコールのあとのジープ島に二重の虹がかかった。こんな小さな島だからこそ、旅の仲間同士が一体感を持って楽しめる。

photo by Miyachi Iwane

「大人の修学旅行」の定番の1つであるアラスカ。オーロラを見るだけでなく、犬ぞりなどに挑戦する参加者も多い。



- 1 中村さんは32歳で再婚し、今は中学生2人の娘と一緒に旅を楽しんでいる。
- 2 「旅人が帰ってくる場所をつくりたい」と2年前にオープンした「地球探検隊〜旅するカフェ〜」。各ツアーの報告会が開かれるほか、月3回程度、多国籍ツアーや大人の修学旅行、「地球探検隊」が目指す旅のあり方などについて、無料の説明会が開催されている。
- 3 カフェは月曜から土曜の夜オープン。昼はオフィスとして使われている。
- 4 カフェは旅を愛する人の交流の場にもなっている。ガイドブックには載っていないような、実体験に基づいた生の情報も入手できる。

旅の終わりは“はじまり”だ

参加者全員で議論しながら 旅先での予定を決める旅

中村さんは自社のメールマガジンで「アメリカに恩返しする旅」を提案した。当時、誰も行きたくないニューヨークを訪れて、タイムズスクエアで新年のカウントダウンをするというシンプルなプランだ。政治信条はさておき、とにかくツアーの根底にあるのは世界平和を願う気持ちだ。メール配信後、ツアーの趣旨に共感した読者200人から応募があった。読者の多くは、多国籍ツアーへの参加経験がある人か、多国籍ツアーに興味を持っている人だった。

「この反響を見て、旅行と旅はやはり根本的に違うものだと確信しました。自分で考え、現地を体感する旅には、世界平和に貢献する力もあると実感した瞬間です」

結局、定員の23人でニューヨーク・カウントダウンツアーが実施された。カウントダウン以外には具体的なプランはなかったため、連日全員でディスカッションして現地を

するか決めていった。いい大人があれをしたい、これをしたいと話し合い、みんなで旅を創り上げていく感覚が新鮮だった。誰かが「まるで大人の修学旅行みたいだ」と言った。

そして、エクスプローラ『地球探検隊』に「大人の修学旅行」が誕生した。参加者は基本的に日本人で、「オーロラを見に行く」



躍動感にあふれる数々の写真が旅の充実度を物語る。

や「モンゴルで馬に乗る」といったざっくりとした計画だけで出発してしまう旅だ。「大人の修学旅行では、例えばオーロラを見るという目的は、旅全体の方向性を決めるための便宜的なものにすぎません。重要な

のは初めて会った旅仲間同士で何をするかを1つひとつ決め、実現していくこと。つまり旅自体が目的なのです」

全員で議論した上で意思決定し、協力し合って旅を創り上げていく大人の修学旅行は、参加者の個性や人間性があらわになる。リーダーシップを発揮する人、縁の下の方持ちに徹する人、場を和ませるムードメーカー……。ごくたまに、一般的な旅行と比較して不平ばかりこぼす人もいる。

「ある意味、その人の本質に触れる機会になるので、人間がとても魅力的に感じられます。残念ながら、まれにその逆もありますけどね（笑）。だから、参加者同士の結婚もすごく多い。あるツアーで、車の上に積んでいたタンクの水を誤って全身にかぶってしまった男性がいました。直後、そばにいた女性が首にかけていたタオルをさっと差し出しました。ふたりの距離は急激に縮まり、その後ゴールインしました。翌年、水事件が伝説となり、みんなが女性をまねて首にタオルをかけていたのには大笑いしましたけど」

コミュニケーション能力は 相手を好きになる力

エクスプローラ『地球探検隊』は、もう1つユニークな旅を提案している。「外国人と日本を旅する【地球探検隊的】バスツアー」だ。「海外で親切にされたので恩返しをしたい」という声から生まれた日帰りツアーで、日本人29人と外国人16人、2対1の割合でバスに乗り、日本人参加者がガイドとなって少人数で関東近郊の名所を巡る。英語は片言でも問題ない。心を開き、積極的に楽しもうという姿勢が大切だ。



外国人とのバスツアーは気軽な国際交流体験としても人気。

「当社のツアーはある程度体力がいる内容のものが多い中、このツアーはどなたにも気軽に参加していただけます。先日は70代のおじいさんと18歳の孫と一緒に参加して、外国人をおもてなししていました。こんなふう

に年代も国籍も関係なく、人と人とがつながって楽しめるツアーは、今までなかったのではないのでしょうか」

グローバル化が進む中、様々な壁を越え



アメリカ大陸横断ツアーの道中、グランドキャニオンにて。見知らぬ者同士がキャンプを続け、助け合いながら旅を創り上げていく。寝食を共にしていくうちに、仲間が喜ぶことが自分の喜びになるという気づきが生まれるという。

て人と人とがつながるためのコミュニケーション能力の重要性は高まる一方だ。中村さんの話を聞いていると、「コミュニケーション能力=語学力」ではないことが見えてくる。

「コミュニケーション能力とは相手を好きになる能力だと思います。相手が何を伝えたいかを知りたいと思う気持ち、それに応えたいと思う気持ち。どんな人かもっと知りたいと思うこと。そして、同じように自分のことを知りたいと思う相手に、自分の素を見せること。自分を好きだと思ってくれる人に対して、心を開くこと。本質的に理解し合える環境は、こうして育まれるのだと思います」

ウィーンで再会した女性の「自分を好きになった」という一言も印象的だ。旅の核心を捉えた言葉だと中村さんは話す。

「旅は、自分自身を丸裸にして見つめ直す絶

好の機会です。そして、旅の仲間と喜びを共有し、時には仲間の喜びのために無私の気持ちも湧き起こる。気づけば、自己満足とは比べものにならないほど広がりのある満足感を感じている自分がいます。感情を揺さぶられる旅では、カッコ悪い自分も素直に認め、物事に対して真剣に向き合おうとする自分を「意外と捨てたもんじゃないな」と思えるからではないでしょうか」

充実した旅の効用はひとときの満足感ではない。旅を終えても、想像力を育む源となり、自信の根拠となって、人生を豊かにしてくれる。だから、中村さんは「旅の終わりは“はじまり”だ」と表現する。明るい材料に乏しく、将来を悲観しがちな日本において、今、1人ひとりに必要なのは、冒険へ踏み出す勇気と、充実した旅の思い出なのかもしれない。

感動の旅 Best 3

これまで自ら50カ国以上で体験型の旅を経験してきた中村さんに、特に感動した旅ベスト3を挙げてもらった。いつかは体験したいダイナミックな冒険ぞろいだ。

1. 無人島で遊び尽くすジブ島の旅 (ミクロネシア連邦・トラック環礁内の無人島、ジブ島)

ロッジはあるが、蚊がいないので外で寝ることができる。頭上の月が西のかたに沈み、満天の星に変わる。また、東から太陽が昇り、地球の自転が感じられる。15年間、狩猟・採集を禁じているため島の周りの魚は人を恐れず、野生のイルカと素潜りと一緒に泳ぐこともできる。



photo by Miyachi Iwane

2. 内モンゴル騎馬遠征隊の旅 (中国・内モンゴル自治区)

大草原を馬で駆け抜けたい。そんな少年少女からの夢を実現する旅。移動式ゲルには電気もガスも水道も何もない。もちろんトイレもないから青空トイレ。本当に必要なものと大切な人だけの遊牧民との生活。「何もなしのにすべてがあった」という参加者の声もある。



3. ユーコン川カヌーの旅 (カナダ・ユーコン川)

秋の紅葉・黄葉に染まるユーコン川を160km下る旅。森の葉と葉が擦れ合う音が聞こえるくらいの静寂の世界。たき火を囲みながらキャンプする。釣りを楽しみ、釣った魚をガイドが料理する。野生の熊、ヘラジカ、ヤマアラシ、ビーバー、白頭鷺…運が良ければオーロラも見られる。



中小規模建物の省エネ化を 公的助成金を活用して効率的に実施

東京都豊島区、JR大塚駅至近に立地する大塚浅見ビルディングでは、老朽化した空調設備の更新に伴い、省エネ対策を実施しました。取組みに当たっては、東京都が実施する中小規模事業所省エネ促進・クレジット創出プロジェクトの助成金を活用してコスト負担を軽減。空調を支える熱源装置の台数制御や照明のLED化を進めることにより、助成金申請時のCO₂削減量・省エネ率の目標を達成する見込みです。



空調設備の更新に合わせ 省エネ対策の実施に舵を切る

都電荒川線の接続駅となっているJR山手線大塚駅。周辺には数多くの商店や商業施設、オフィスビルが立ち並び、にぎわいを見せています。そんな大塚駅から徒歩3分という好立地に立っているのが大塚浅見ビルディングです。地上8階、地下1階のこのビルは、建物のオーナーである浅見地所株式会社が事務所を構える地下階を除き、地上階のすべてが賃貸オフィスとなっています。「当ビルの竣工は1988年。以来、建物の空調設備は20年以上にわたって、使われ続けてきていましたが、数年前から設備の老朽化に伴う不具合が発生するようになっていきました。特に夏の暑い時季などに、空調の効きが悪くなるといったことも度々起こるようになりました」(伊東氏)

そこで、浅見地所では2011年に空調設備の更新を決定。ただ単に老朽化した機器を新しいものに置き換えるだけではなく、同時に省エネ対策の実施を含め検討を開始しました。

「東日本大震災に伴う電力不足が叫ばれている時期だったので、省電力に向けた社会的な要請が非常に高まっていたという背景もありました。その一方で、建物自体に省エネ対策をしっかりと施すことが、賃貸オフィスビルとしての付加価値を高めることにもつながると考えました」(森氏)

各種補助金申請の支援における 豊富な実績に大きな安心感

しかし、設備の更新に加えて省エネ対策を実施するとすると、投資コストが大きく膨らんでしまいます。そこで浅見地所が目にしたのが、東京都が実施していた「中小規模事業所省エネ促進・クレジット創出プロ

ジェクト*1」でした。同社では、このプロジェクトで交付される助成金の活用を前提に空調設備の更新と省エネ対策に取り組むことを決め、ビルの運用を担当する三菱地所リアルエステートサービス株式会社、およびビル管理業務に当たる三菱地所コミュニティ株式会社の協力を得て、設備の設計・施工を依頼するベンダーを検討。その結果、パートナーに迎えたのが、既存中央監視設備の保守業務を担当していた



屋上に設置された高効率空冷ヒートポンプチラー。



既存の中央監視装置から更新された建物管理システムsavic-net FXmini。操作性が向上し、効率よく管理作業が行える。

アズビル株式会社でした。

東京都の助成金を申請するには、東京都環境整備公社の省エネルギー診断を受けることが条件となります。大塚浅見ビルディングでも、設備更新の具体的な検討に入る前に、その診断を受けていますが、その際、公社からは既存のセントラル空調から個別空調へ設備更新し、省エネルギーを実現する提案があったといいます。

「しかし、テナントが入居している状態で個別空調の導入工事を実施することは困難でした。そこで最終的には、既存のセントラル空調をそのまま利用し、省エネルギーを追求することを決めました。その上で助成金申請に必要な省エネ率をクリアするために、パートナーとしてアズビルを選定しました」(船越氏)

「検討した東京都の助成事業は、競争率が高いことに加え、審査も非常に厳しく、申請書類や綿密な提出資料を作成できるといった点はパートナー選びの重要なポイントでした。その点、アズビルは、環境省や経済産業省などの補助金を活用した省エネ施策を数多く手がけており、都の要求に速やかに対応してくれました」(森氏)

一連の対策の成果として 省エネ率17.6%の達成を見込む

アズビルに決定後、浅見地所では2011年8月に助成金を申請。9月には助成金の交付が決定しました。その翌月には工事が開始され、2012年5月に完了しました。「助成事業の実施に当たって、東京都からは度々問合せがありましたが、アズビル担当



熱源管理用デジタルコントローラPARAMATRIX™4。負荷側の需要に合わせてヒートポンプチラー、冷水／温水ポンプの台数制御を行う。



LED化されたオフィスの照明および誘導灯。省電力実現に大きく貢献している。



者が的確に対応したことも、当社の助成事業がスムーズに完了した大きな要因でしょう」(森氏)

今回実施した主な省エネ対策としては、既存の空冷ヒートポンプチラー2台をそれぞれ最新の高効率タイプに置き換えるとともに、熱源機運転台数制御、電力デマンド制御を導入。負荷側からの熱要求量に応じてチラーや冷水／温水ポンプの稼働台数を制御し使用電力量を制限するのに加え、電力使用状況に応じて契約電力量を超えそうな場合には熱源機の運転を止めて調整する仕組みを導入しました。これによりビル全体としての最適化が図られ、CO₂削減およびコスト削減にも効果を上げています。加えて、オフィスエリアの一般型蛍光灯、および建物内の蛍光誘導灯をそれぞれLED化するという対策も実施。さらなる省電力を追求しています。

「まだ初年度が完了していない状況ですが、一連の更新工事の結果、助成金申請時に掲げたCO₂ 80トン／年の削減、省エネ率17.6%は確実に達成される見込みです。また、中央監視装置として新たに導入したsavic-net™FXminiの見やすく操作性に優れた監視画面により、設備の管理に当たる担当者の負荷が大幅に軽減されるという成果も得られています」(船越氏)

「今回、助成金の交付を受けた東京都のプロジェクトでは、助成事業実施後6年間にわたる効果報告が求められていますが、それ

についても、アズビルの継続的な支援があれば安心です。今後もアズビルには、メンテナンス対応なども含め、「ビルの生命線」ともいえる空調設備の稼働を、しっかりと支えていってくれることを期待しています」(伊東氏)

用語解説

*1:中小規模事業所省エネ促進・クレジット創出プロジェクト
東京都内の中小規模事業所における高効率な省エネ設備の導入を助成する東京都の事業。設備導入により達成されたCO₂削減量をクレジット化する権利を都へ無償譲渡することが条件となる。計4回の募集が行われた。

浅見地所株式会社



所在地：東京都豊島区北大塚1-14-3
設立：1988年3月
事業内容：オフィスビルなどの賃貸運営

浅見地所株式会社
代表取締役
伊東 太映子氏

浅見地所株式会社
取締役
森 公美子氏

三菱地所コミュニティ株式会社
プロパティ事業部 管理一部 管理二課
課長代理
船越 英之氏

水槽内の水温を自動制御し 海洋生物の最適な飼育環境を維持

日本からも数多くの観光客が訪れる韓国・済州島に2012年7月にオープンしたアクアプラネット済州は、水槽規模、飼育生物数でアジア最大級を誇る水族館です。同水族館では、水槽内の水温を常時一定に保つ生命維持装置(LSS)を導入。温度の変化に弱い海洋生物を飼育するのに最適な環境を維持しています。



飼育種に応じた厳密な水温管理が水族館運営の重要なポイント

韓国の最南端に位置する済州(チェジュ)島。高知県や福岡県と同緯度に位置するこの島は、付近を暖流の対馬海流が流れており、冬の寒さが厳しい韓国で最も気候が温暖であることから「韓国のハワイ」とも呼ばれ、韓国国内だけでなく日本からも数多くの観光客が訪れるリゾート地として知られています。

2012年7月に同島の東エリアにオープンしたアクアプラネット済州は、地下1階地上2階の建物内に設置された約11,000トンの規模を誇る水槽に、済州島近海に生息する魚類を中心に約500種、58,000匹の海洋生物を展示するアジア最大級の水族館です。その運営に当たるのは、ハンファホテル&リゾート株式会社。製造・建設、金融、サービス・レジャーの3事業を柱にグローバルなビジネスを展開する韓国

ハンファグループにおいて、サービス・レジャー事業領域の中核を担う企業です。「水族館運営の最重要ポイントは、水槽内の水温管理です。特に水温10~15度程度の冷水帯に棲んでいる魚などは温度に非常に敏感で、ちょっとした水温変化にも大きなストレスを感じてしまいます。そのため、水温管理を厳密に行わないと、病気になったり、場合によっては死んでしまったりすることもあります」(Park氏)

水族館の自動制御分野における豊富な実績を高く評価

アクアプラネット済州建設の際も、水槽内の水温を常に適正に保つ監視・制御システムや熱源設備からなる生命維持装置(Life Support System: 以下LSS*)をいかに整備するかは重要なテーマとなりま

した。このとき、ハンファ ホテル&リゾートがパートナーに選定したのがアズビル株式会社の現地法人 アズビル韓国株式会社でした。

ハンファ ホテル&リゾートは韓国全土で数多くの水族館を建設・運営しています。その中の一つ、ソウル・汝矣島(ヨイド)のランドマークとして知られる「63ビル」にある水族館63シーワールドのLSSにおいて、アズビル製品が大きな実績を上げていたことが採用のポイントとなりました。「当初、63シーワールドはアズビルのアナログコントローラを利用して水温制御を



中央監視室に設置されたsavic-net FXの監視端末。水槽内の水温などを一元的にモニタリングしている。



デジタル指示調節計。温度センサなどの計測値を基に、水槽の温度制御を行う。

行っていました。2008年にコントローラのデジタル化を検討した際にも、アズビルのデジタルコントローラを導入し、安定した水温で水槽管理を行っています。アクアプラネット済州のLSS構築に当たっても、そうしたアズビル製品の実力を高く評価しました。また、水族館の自動制御分野で豊富な実績を持つazbilブランドに対する大きな信頼もありました」(Ju氏)

アズビル韓国では、ハンファ ホテル&リゾートの担当者と共に日本各地の主要水族館を巡り、実際の事例を見学しています。そうした対応もあり、安心してアズビル韓国を採用することができたということです。

今後の事業展開を支えるパートナーとして期待

2010年7月、アズビル韓国がLSS構築パートナーになってすぐにアクアプラネット済州の施工が開始。2012年5月に竣工。7月の施設オープンから今日に至るまでシステムは安定稼働を続けています。

LSSは、水槽からの水の戻り部分に設置したセンサで計測する水温の変化に応じて、水槽へ循環する海水の熱交換量を調整し、水温を管理しています。こうした一連の制御をデジタル指示調節計で行い、水槽内の環境は常に建物管理システムsavic-net™FXでモニタリングすることができます。さらにsavic-net FXで水槽内の環境を一元管理できるようになったことで、それまでの施設内にある数多くの水槽を毎日何度も巡回し、温度調整や管理を行うといった作業がなくなり、施設管

理担当者の負担は大きく軽減されました。「水温制御がすべて自動化されているので、何か起こった際の対応の遅れなどを心配することなく、すべての水槽内の生物にとって最適な飼育環境が維持できています」(Kim氏)

「また仮に、槽内の水温に異常が発生したとしても、savic-net FXから施設管理担当者の携帯電話にショートメッセージが届く仕組みが整えられています。常時モニター画面を注視していなくても、オペレータが万一の事態に速やかに対応できるのです」(Oh氏)

韓国で水族館人気が高まっている状況を背景に、ハンファ ホテル&リゾートは今後も、各地に新規水族館を積極的に展開していくことを計画しています。そうした中で、LSS構築パートナーの第一候補としてアズビルを位置付けているといいます。実際に、アクアプラネット済州とほぼ同時期、2012年5月12日にオープンした同社のアクアプラネット麗水(ヨス)でもLSSの監視・制御にアズビル韓国を採用しています。さらに、現在建設中の一山(イルサン)のアクアプラネットでも、LSS構築にアズビル韓国が採用されました。

「製品、システムの優位性はもちろん、施工から運用支援、保守に至るすべてにおいても、アズビル社員のサービス・対応についても大いに満足しています」(Park氏)「今後もアズビル韓国には、高度な技術力とノウハウで、当社が重点戦略に位置付ける水族館事業のパートナーとしての役割を担ってくれることを大いに期待しています」(Ju氏)

用語解説

*1:LSS(Life Support System)
水族館の展示生物にとって最適な飼育環境を保つためのシステム。生命維持装置。

アクアプラネット 済州



所在地: 127-1 Goseong-ri Seongsan-eup
Seogwipo-si Jeju-do 699-901 Korea
開場日: 2012年7月14日

ハンファ ホテル&リゾート株式会社
(Hanwha Hotels & Resorts Co., Ltd.)

所在地: 1 Janggyo-dong Jung-gu Seoul 100-797 Korea
設立: 1979年3月
事業内容: コンドミニアム、ゴルフ場、各種テーマパーク、会員制リゾートなどの運営



カルチャービジネス
開発チーム
チーフマネージャー
Ju Bok Taek 氏



アクアプラネット済州
上級マネージャー代理
Park Jin Hee 氏



アクアプラネット済州
LSSマネージャー
Oh Jae Deuk 氏



アクアプラネット済州
飼育チーム マスター
Kim Youg-Bae 氏

エネルギー消費の“見える化”をベースに CO₂排出量とエネルギーコストを大幅圧縮

アズビル金門和歌山では、azbilグループが推進するCO₂排出量削減に向けた取組みの一環として、エネルギー消費の“見える化”システムの導入と、可視化された情報に基づく数々の省エネ施策を実施しました。その結果、電気、LPガスの消費量を大幅に削減。CO₂排出量はもちろん、エネルギーコストの圧縮という点でも大きな成果を上げています。



CO₂排出量削減目標実現に向けて グループ一丸となって取り組む

azbilグループのライフオートメーション事業分野で、ガス・水道メーターの製造・販売を行うアズビル金門株式会社。アズビル金門和歌山株式会社は、その関連会社として1996年に和歌山県中部の御坊市に設立されました。

「計量法指定製造事業者*1」として、家庭用、業務用の都市ガスメーターを製造し、北陸、中部、近畿、中国、四国エリアの計20府県のガス会社さまに供給しているほか、各ガス会社さまからの委託により、検定満期になった製品の再生修理のサービスも行っています」(村松)

azbilグループでは、地球環境への貢献をグループ理念に掲げており、CO₂排出量を2013年度(2014年3月期)までに2006年度比で10%以上削減することを経営方針に据え、グループ全体で取り組んでいます。その一環としてアズビル株式会社は、アズビル金門の各生産会社を含むグループ全体へ、

アズビルでの実践で得られたエネルギー消費の“見える化”とそれに基づく省エネ施策のノウハウの展開を推進しています。アズビル金門和歌山が、ライフオートメーション事業分野として初めて対象工場に選定され、アズビルの技術者が現場を診断し、施策を提案しました。

「これまで、事務所や工場の蛍光灯を間引いたり、空調温度を調整したりといった省エネ活動を実施してきましたが、電力やLPガス、CO₂が実際にどれくらい削減ができていくかについての検証を十分には行っていませんでした。今回、本格的な省エネ施策に着手できたことは、当社にとっても大いに歓迎すべきものでした」(友田)

リアルタイムに効果を実感 検証しながら省エネを推進

省エネ活動に先立ち、現場のヒアリングとウォークスルーを実施。現時点での使用量を正確に把握するため、まず生産現場やオフィスのエネルギー消費を“見える化”するシステムとして、アズビルのエネルギー管理シ

ステムEneSCOPE™(エネスコープ)と電力需給最適化支援パッケージENEOPT™pers(エネオプパース)を導入しました。「組立てや塗装、検査といった工程ごとのエネルギー消費の特性を考慮しながら、電力計、ガスメーター、温湿度センサ、エア流量計などを設置していきましました」(吉永)

そして、それらの計器、センサ類で計測したデータを計装ネットワークモジュールNXで収集し、EneSCOPE、ENEOPTpersでその状況を分かりやすくグラフなどで表示する仕組みを構築。システムは2012年7月に稼働を開始し、工場全体と職場単位でのエネルギー



玄関ホール、食堂にはEneSCOPE、ENEOPTpersのモニタ画面が設置されており、従業員の省エネ意識の醸成に効果を上げているほか、来社された方に自社の環境への取り組みをアピールすることにもつながっている。



検定検査室の温湿度を適正に保つ制御を行うデジタル指示調節計 SDCシリーズと検定検査室内に設置された室内形温度/湿度センサ ネオセンサ。

消費量の“見える化”が実現されました。

本格的な省エネに向けて、アズビル金門和歌山とアズビルは、システムによって可視化された情報を基に数々の省エネ施策を立案、実施してきました。例えば、最初に行ったのが、夏場の冷房対策です。もともと同社では、最初の社員が出社する朝6時ごろに空調のスイッチが入られるというのが慣行でした。しかし、空調がない状態で工場内の室内温度を計測したところ8~9時ごろになって初めて温度が上昇することが明らかになりました。これを受けて、冷房の利用は7時からとするルールを制定。全従業員に周知しました。その結果、作業現場の快適性を損なうことなく、ガスを熱源とする空調にかかわるエネルギーが1日当たり、電力量50kWh、LPガス9m³を削減することができました。「この施策を実施したのは、システムの導入後わずか1週間後です。“見える化”された情報から“気づき”を得て、すぐに対策を行いました。その効果がリアルタイムに分かるという点が省エネ施策の検証やその軌道修正にも役立ち、省エネ推進のモチベーションアップにもつながっています」(重村)

CO₂排出量削減だけではなく コストの圧縮にも大きな成果

特に大きな成果が得られたのが、ガスメーターの検定検査室の空調対策です。検定検査室は、国が定める検定の要件を満たすため室内を一定の温度、湿度に保つ恒温恒湿室である必要があります。そのため以前は、作業が行われない土曜、日曜も空調稼働させていました。週末に空調を停止させてしま



エネルギー消費状況を把握するために設置された電力計、ガスメーター、温湿度センサ、エア流量計からデータを収集するコントローラ、計装ネットワークモジュール NX。



ガス焚冷温水発生器にアズビル金門製の大型ガスメーターを設置し、ガスの使用量を計測する。

と、月曜朝の作業環境に影響が出ると考えられていたからです。しかし、トライアルで何度か空調を停止させ“見える化”システムで検証したところ、土曜、日曜に空調を停止しても月曜日の午前3時に稼働させれば、朝の始業開始時には作業に必要な温湿度環境が整うことが明らかになりました。こうして運用を切り替えた結果、1日当たり、電力量726kWh、LPガス量190m³を削減できたのです。

「そのほかの省エネ対策も含め、半年間でおよそ500万円の電気・LPガスのコスト削減を実現しました。CO₂排出量も2010年度比で18.1%削減と大きな成果が得られています」(前田)

今後もアズビル金門和歌山では、“見える化”された情報をベースにさらなる省エネルギーを推進すべく、施策を立案し、実践していく計画です。

「電気に比べてLPガス量の削減がまだまだ不十分だと考えています。今後、熱量需要予測や冷温水温度最適化などのアズビルの新たな省エネ技術で、LPガス量の削減にも取り組んでいきます」(南)

「今回の施策の成果は当初の期待を大幅に上回るものでした。こうした成果をほかの工場に展開し、azbilグループ全体のCO₂削減の取組みに貢献していくことが、我々のミッションだと捉えています」(友田)

用語解説

*1:計量法指定製造事業者
経済産業大臣から指定を受けた計量器などの製造事業者。経済産業大臣から指定を受けた工場または事業場において、型式承認を受けた特定計量器と同一型式の計量器を製造したときに、自社検査によって検定が免除される。

アズビル金門和歌山株式会社



所在地:和歌山県御坊市塩屋町北塩屋1825-5
設立:1996年5月
事業内容:都市ガスメーターの製造、販売



代表取締役社長
友田 馨一



取締役工場長
村松 雅裕



技術課
課長
吉永 明生



品質管理課
課長代理
重村 徹



技術課
課長代理
南 伸幸



総務課
前田 幸治

2社の強みを統合しグループのフロントエンド技術商社として さらなる付加価値をお客さまに提供

azbilグループでは、「人を中心としたオートメーション」の理念の下、環境変化に合わせた構造改革の一環として、2013年4月1日にグループ企業のアズビル商事株式会社とアズビル ロイヤルコントロールズ株式会社を合併。「アズビルトレーディング株式会社」として新たにスタートさせました。新会社では今後、グループのフロントエンド技術商社として、さらなる現場力の強化を図り、お客さまに向けた継続的な価値提供を進めていきます。

事業の強化推進のために グループ企業2社を合併

azbilグループは「人を中心としたオートメーション」の理念の下、「計測と制御」の技術を基に、3つの事業（ビルディングオートメーション、アドバンスオートメーション（AA）、ライフオートメーション）を通じて、お客さまの現場でお客さまとともに新しい価値を創造し、様々な課題の解決に貢献できる企業集団を目指しています。中期経営計画では、グループ理念の実践として3つの基本方針である、「技術・製品を基盤としたソリューション展開でお客さま・社会の長期パートナーになること」、「地域の拡大と質的な転換でグローバル展開を進める」



アズビルトレーディング株式会社
取締役執行役員専務
谷山 進

こと、さらにその具現化に向け「環境の変化に対応して体質強化を進め、学習する企業体へ変革する」こと、を掲げています。それらを実現しながらお客さまにより高い価値を提供していけるよう、常にグループ全体のシナジーを活かせる体制整備を進めています。

そうした取組みの一環として、2013年4月1日、アズビル商事株式会社とアズビル ロイヤルコントロールズ株式会社という2つのグループ企業を合併。新会社「アズビルトレーディング株式会社」として新たに事業をスタートさせました。

1942年に設立されたアズビル商事（当時 株式会社 山武商会）は、アズビル製品に加え、世界各国の工作機械、制御機器など高付加価値製品を国内市場に提供するというビジネスを展開。特に近年、感圧スイッチやライトカーテンなど「安全」をキーワードとした製品の提供に力を入れ、工業分野をはじめ幅広い領域の作業安全、予防安全に貢献してきました。

一方、アズビル ロイヤルコントロールズは1964年に設立（当時 ロイヤルコントロールズ株式会社）され、アズビル製品を中心とする制御機器を扱う独立系の販売会社として事業をスタートしました。その後、エンジニアリング力の強化を図りながら、制御機器の販売だけではなくシステム構築、工事までを一括で受注できる体制を整え、主に加工・製造業分野でお客さまの生産活動を支えてきました。2006年10月にazbilグループに参加、2012年4月にはアズビル



アズビルトレーディング株式会社
代表取締役執行役員社長
神澤 弘一

株式会社の100%子会社となり、今回の合併を迎えました。

双方の強みを活かした相互補完で 顧客のより広範なニーズを満たす

新会社アズビルトレーディングは、今後、azbilグループの技術専門商社として、2社の強みを合体させて、事業の拡大と企業力の強化に努めていきます。

その推進力となるのが、アズビル商事が持っていた幅広い商品力と、アズビル ロイヤルコントロールズが持っていたシステムソリューション力の融合によって生み出される、ワンストップでの価値提供力です。これまでアズビル ロイヤルコントロールズが制御機器の納入やシステムの構築によって、



生産設備の拡充、生産力の向上を支援してきたお客さまや、アズビル商事が安全面の提案を行ってきたお客さまに対し、両社が持っているそれぞれの強みを一つに統合し、総合力でお客さまの課題を解決することができそうです。

アズビルトレーディングでは、そうした事業展開を念頭に、営業面の強化にも着手しています。例えば、全国を6つのエリアに分け、エリアごとに設置された支店が顧客密着型の営業を行う体制を構築。さらに、各エリアの営業活動を全社横断の形でバックアップする営業推進本部を新たに設置しました。

営業推進本部には、個々の製品やサービスに精通した専門家を配置。営業担当と

もにお客さまの元に同行し、営業活動の支援を行うことで、製品・サービスの持つ特長や特性を活かした最適なソリューションをお客さまに提供できるようになりました。

さらに、AA事業との連携を通じ、アドバンスオートメーションカンパニーとの営業面、エンジニアリング面、サービス面、品質面などにおいて協業を進め、グループ一体となって様々なサービスを提供していきます。

新製品市場の開拓により グループ各社とのシナジーを追求

一方、アズビルトレーディングでは、お客さまからいただいた課題を解決するための製品やソリューションを提供していくだけで

なく、いまだ市場で顕在化していない新たなニーズを掘り起こし、それに適合する製品を海外から調達してお客さまに提供していくという、いわば技術商社ならではのシーズ志向ビジネスの展開も進めていこうとしています。

これは、今まで取り組んできた工業分野だけでなく建物や生活の場面でも同様の安全を提供できると考えています。

今後、一連の施策を通して、アズビルトレーディングでは、アズビル商事、アズビル ロイヤルコントロールズの2社が長年にわたって培ってきた現場力をさらにブラッシュアップさせ、azbilグループのフロントエンド技術商社として、お客さまに継続的な価値を提供してまいります。

Keyword [Lyophilization / Freeze Drying]

凍結乾燥

物質の性質を損なうことなく長期保存するために、低温凍結状態で水分(氷)を昇華*させ乾燥させる手法。



んー……この深いコクと香り……

ほう!この味の違いが分かるかね!これは私が凍結乾燥で作ったものなんじゃよ!

どこで凍結乾燥って何ですか?

凍結乾燥(Lyophilization)は食材やその原料を長期に保存するための方法のひとつじゃ。フリーズドライ、と言った方がなじみがあるのう。

とてまインスタントとは思えないですね

アンサー博士

苦くなければ最高です!!

ズムザム

凍結乾燥

①凍らせる

②真空ポンプで気圧を下げ、沸点が低い状態にする

③低い温度で水分を昇華させ乾燥させる

早く乾燥でき、カビを発生させることがなく形や風味が変わることもないというメリットがある

熱に弱い成分も粉末にできることから、最近では医薬品の製造にもよく用いられているのう

溶解性も高く、様々な需要に応えられるのじゃ

さらには詳しく知りたいければ隣で勉強じゃ

おお!すばらしいですね!

はい、+博士!!!

コーヒ-休憩しましょう!

+博士のマネをしてボクもフリーズドライ食品作りに挑戦してみました!

…で、どれがコーヒ-なんじゃ?

…どれだよーって?

マンガ: 湯島ひよ/ad-manga.com

「フリーズドライ」食品はなぜ品質を損なわず長期保存できるのか

私たちになじみ深いインスタント食品に、「フリーズドライ」製品があります。お湯を注ぐだけですぐにおいしく食べられる味噌汁やスープ、あるいは瓶詰めのインスタントコーヒーなどが代表例です。

こうしたフリーズドライ食品は、素材の風味や品質を損なうことなく長期間保存できるように、低温で凍結した状態で氷(水分)を水蒸気に昇華させることによって乾燥させる「凍結乾燥」という手法で製造されています。

この製法は英語で「Lyophilization(リオフィライゼーション/ライオフィライゼーション)」と呼ばれます。「Freeze Drying(フリーズドライイング)」でも同じ意味です。

凍結乾燥は、乾燥の速度を飛躍的に速めるために真空状態で行うのが一般的です。真空状態だと、氷の昇華点を下げられ、低温でも素早く氷(水分)を水蒸気に昇華させられるのです。低温での処理のため、素材の風味や品質を損なう心配もありません。

凍結乾燥によって生成された乾燥物は、微細な穴が無数に存在する多孔質構造になっています。そのため、水を加えると短時間で吸収し、簡単に元の状態に戻せるのです。

生成された乾燥物は、残留水分が極めて少なく成分が変質しにくいため常温で長期保存でき、軽量になるため運搬にも適しています。また、真空状態で乾燥を行うため生成工程中の無菌環境をつくりやすいのもメリットです。

医薬品分野をはじめ、古文書修復など様々な領域で活用の可能性が拡大

このように様々なメリットを持つ凍結乾燥ですが、その活用領域は、食品分野だけにとどまりません。実は凍結乾燥の技術

は、医薬品の進化にも大いに貢献しているのです。

特に分子構造が複雑で、通常の状態では不安定になる高分子のタンパク質を用いた医薬品には、凍結乾燥での保存が威力を発揮しています。具体的には、ワクチン、抗体医薬品、肝がんやC型肝炎治療薬として用いられるインターフェロンなどがあります。

ワクチンでは、はしか・おたふくかぜ・風しんのほか、日本脳炎や水痘(水疱瘡)などのワクチンにも凍結乾燥の技術が活用されています。凍結乾燥されたワクチンは固形状態になっており、医師などが、接種直前に無菌状態の添付溶剤(注射用水)で溶解して使用します。

このように重要な役割を担う凍結乾燥ですが、それを活用した医薬品の開発は決して簡単ではありません。物質を安定させるために糖類や塩などの添加剤を使用するため、凝固点が微妙に変化するなど、製造の各工程で精緻な調整や管理が必要になります。医薬品メーカー各社は均一で安定した品質の製品をより短時間に提供するため凍結乾燥工程の開発に力を注ぎ、凍結乾燥装置メーカーは凍結乾燥手法の開発をめぐって、しのぎを削っています。

凍結乾燥は、こうした課題を解決しながら

ら、その活用領域をさらに拡大しようとしています。市場の拡大が続くバイオ医薬品での活用が有力なほか、物を飲み込むのが難しい小児や嚥下障害を持つ高齢者などを対象に、薬剤を口腔内で溶けやすくした口腔内崩壊錠などへの活用も期待されています。

凍結乾燥の可能性は、さらにほかの分野にも広がっています。その一つに、文化財保護を目的とした古文書の修復があります。例えば災害などで水や泥につかってしまった貴重な古文書を元の状態に戻すと同時に、凍結によりカビ菌を取り除き、保存性を高めることができるのです。

そのほか、研究分野では生細胞や微生物などの保存、工業分野では電子写真感光体に使用する有機顔料や高分子・プラスチック材料の製造などに、凍結乾燥技術は使われ始めています。さらには、余った生コンクリートの再利用や、防塵フィルタなどに利用できるニューセラミックスの製造といった活用法なども……。これからも様々な分野で、凍結乾燥の可能性は広がっていきそうです。

*昇華
固体が液体になることなく直接、気体になること。その逆に、気体から直接、固体になること。ドライアイスが液化することなく直接、気体になるような現象。



製品情報

制御機器汎用製品の通販サイト「Shop COMPO CLUB」を開設
— 部品手配を効率化し、エンジニアの負荷軽減に貢献 —

アズビル株式会社は、光電センサ・リミットスイッチ・気体流量計など、汎用製品の通販サイト「Shop COMPO CLUB(ショップコンポクラブ)」を開設しました。サンプルやメンテナンス用の部品の入手までの時間を短縮し、エンジニアの業務の効率化を支援します。アズビルでは、制御機器やフィールド機器製品などの情報をWeb情報総合サイト「COMPO CLUB(コンポクラブ)」で提供しています。「COMPO CLUB」で製品情報を確認後、選定した部品を「Shop COMPO CLUB」で簡単に購入できるようになりました。

設計エンジニアが設備や装置の試作段階で部品のサンプルを購入する際、購入先の探索や発注方法の確認で時間がかかったり、納品までの日数が必要で、試作が一時的に止まってしまうケースがありました。また、メンテナンスエンジニアが設備のメンテナンスで緊急に部品交換が必要となった場合にも、部品がすぐに入手できないことがありました。「Shop COMPO CLUB」で簡単に購入することでこうした課題を解消し、かつ「COMPO CLUB」により確実な製品情報を基に手配できることで、要求仕様にあった部品を手配することが可能です。



Shop COMPO CLUB
http://www.shop-azbil-compoclub.com/
[COMPO CLUB]
http://www.compoclub.com/

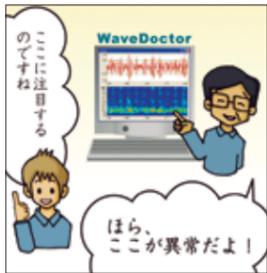
■アズビル株式会社 アドバンスオートメーションカンパニー マーケティング部 コミュニケーション2グループ TEL:0466-20-2160

製品情報

「音の見える化」で設備保全の勘どころを共有するソフトウェアとサービスを提供
— ベテラン保全員の技術伝承をサポート —

アズビル株式会社は、音を見える化し、ベテラン保全員の設備診断技術の伝承をサポートするツールWaveDoctor(ウェーブドクター)と、お客様の設備の音をWaveDoctorによって見える化し、診断した情報を提供するサービスを開始しました。製造現場では、保全員が巡回点検によって生産設備が正常であるかどうかを確認し、五感と経験を活かして可能な限り早く設備の異常を検知しようとしますが、わずかな音の変化を捉えて異常を発見するには経験が必要です。また、その極意をベテランから引き継ぐのは容易ではありません。音を可視

化し、どのようなときに異常が起きているかを診断することで、ベテランの極意を引き継ぐことが容易になります。また、可視化により、実際の音を聴くよりも判定の時間を圧縮できます。このように、音の可視化によって設備診断のノウハウの蓄積と伝承が可能になり、異常の早期発見にも貢献します。WaveDoctorは、可視化と同時に、実際の音を再生し、複数の保全員で聴いて体験を共有することが可能です。また、お客さまから現場で採取したサンプル音をお預かりして、当社で可視化し、診断した情報を提供します。



■アズビル株式会社 アドバンスオートメーションカンパニー マーケティング部 コミュニケーション2グループ TEL:0466-20-2160

ニュース

タイに生産新会社を設立 — 中国・大連の生産体制も強化、グローバルでの生産再編を加速 —

アズビル株式会社は、グローバルでの最適なロジスティック整備、地域特性に合わせた製品対応の強化に向けた生産体制の再編を進めており、このたび2013年2月20日付でタイに生産現地法人「アズビルプロダクションタイランド株式会社」を設立しました。これによりazbilグループの主要生産拠点としては、日本、中国、サウジアラビアにタイを加えた体制となり、お客様のグローバル化に合わせて、現場に密着した設計、生産、エンジニアリング・サービスを提供する体制を構築します。併せて、中国での生産体制の整備を行い、大連に

あるアズビル機器(大連)有限公司は、現地での設計機能を強化するとともに競争調達を加速して材料費を低減させ、その他経費も含めてコストを削減します。また、工業用ならびに空調用の調節弁、ポジションナ、リミットスイッチなどに関して生産品目の拡大を行います。今回のタイ、中国での再編と同時に日本国内の生産体制も再編成し、神奈川県の大野工場は2013年秋までに操業を中止し、他の国内工場、海外工場などへ機能を移転・集約します。

社名: アズビルプロダクションタイランド株式会社
Azbil Production (Thailand) Co. Ltd
所在地: タイ国チョンブリー県アタナコン工業団地内
設立: 2013年2月20日
社長: 根本 敦之(ねもと のぶゆき)
資本金: 1.4億バーツ
(約4.2億円、3.0円/バーツで計算)
出資比率: アズビル株式会社 100%
事業内容: 温度調節計、空調用コントローラなどの自動制御機器の製造

■アズビル株式会社 経営企画部広報グループ TEL:03-6810-1006

ニュース

ビルシステムカンパニー横浜支店が「横浜環境活動賞 実践賞」を受賞
— 支店社員の92%がeco検定を取得、地域に根ざした環境活動を推進 —

アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー横浜支店は、第20回 横浜環境活動賞(主催:横浜市環境創造局)において、「実践賞」を受賞しました。「横浜環境活動賞」とは、地域で様々な環境活動を積極的にを行い、功績のあった市民、企業、児童・生徒・学生を横浜市が表彰する制度です(平成5年度に創設)。環境の保全・再生・創造に対する関心をより一層高めるとともに、地域の環境活動を推進し、環境にやさしい街づくりを進めることを目的

とし、その活動を表彰するものです。当社は、ビルシステムカンパニー横浜支店内において、過去3年間で社員全員(125人)が環境社会検定(通称 eco検定)を目指し、現在、115人(支店内92%)が当検定に合格していることなどが評価され、実践賞を受賞しました。また、2009年度からeco検定を公的資格取得奨励制度の対象に加えて取得を奨励しており、会社全体のeco検定合格者は社員の約1割にあたる710人となっています。

■アズビル株式会社 経営企画部広報グループ TEL:03-6810-1006



横浜市環境創造局の荻島局長(左)と横浜支店の杉原支店長(右、3/3表彰式時点)

展示会情報

FOOMA JAPAN 2013 国際食品工業展

会期: 6/11(火)~6/14(金) 入場料: 1,000円(事前登録者または招待状持参者は入場無料)
時間: 10:00~17:00
会場: 東京ビッグサイト
主催: 一般社団法人 日本食品機械工業会

■アズビル株式会社 アドバンスオートメーションカンパニー マーケティング部 コミュニケーション2グループ TEL:0466-20-2160

展示会情報

東北みらい市

会期: 6/15(土) 入場料: 無料
時間: 10:00~17:00
会場: 夢メッセみやぎ
主催: 橋本総業株式会社

■アズビル金門株式会社 東北支店 TEL:022-227-1535

展示会情報

サーモテック2013 (第6回国際工業炉・関連機器展)

会期: 7/3(水)~7/5(金) 入場料: 無料
時間: 10:00~17:00
会場: 東京ビッグサイト
主催: 一般社団法人日本工業炉協会

入場料: 1,000円(事前登録者または招待状持参者は入場無料)

■アズビル株式会社 アドバンスオートメーションカンパニー マーケティング部 コミュニケーション2グループ TEL:0466-20-2160

展示会情報

関東グランドフェア2013

会期: 7/5(金)~7/6(土) 主催: やまづみ会
時間: 7/5 10:00~17:30 入場料: 無料
7/6 9:30~16:30
会場: 幕張メッセ
出展内容: 水道メーター、電池式電磁水道メーターなど

■アズビル金門株式会社 東京支社3グループ 水・計装営業 TEL:03-5980-5035

展示会情報

第4回 エコ オフィス/エコ 工場EXPO

会期: 7/10(水)~7/12(金) 入場料: 5,000円(事前登録者または招待状持参者は入場無料)
時間: 10:00~18:00(最終日は17:00終了)
会場: 東京ビッグサイト
主催: リード エグジビション ジャパン株式会社

■アズビル株式会社 経営企画部広報グループ TEL:03-6810-1006

展示会情報

第26回 インターフェックス ジャパン

会期: 7/10(水)~7/12(金) 入場料: 5,000円(事前登録者または招待状持参者は入場無料)
時間: 10:00~18:00(最終日は17:00終了)
会場: 東京ビッグサイト
主催: リード エグジビション ジャパン株式会社

■アズビル株式会社 アドバンスオートメーションカンパニー マーケティング部 コミュニケーション2グループ TEL:0466-20-2160
■アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー コミュニケーションマーケティング部 TEL:03-6810-1112

今月の表紙

南アフリカ共和国/ケープタウン
MERRY メッセージ 「テレビを見るのが幸せ」
●撮影メモ
早朝からタウンシップ、ランガの小学校へ。今、アフリカ大陸の深刻な問題に「エイズのまん延」と「貧困」がある。ランガの子供たちも例外ではない。しかし、子供たちにはそんな暗さは全く感じられない。取材に入るまでは、MERRYが理解されるのかと心配したが、体でMERRYを理解してくれたと思う。それは人なつこく結束の固い南アフリカ人のピュアなエネルギーであり、パワーである。そこには希望があり、心の中は「MERRY」でふれていた。
水谷事務所代表/MERRY PROJECT 主宰 水谷 孝次さん

Present

「感動が共感に変わる!」

中村 伸一 著

特集で紹介した、中村伸一さんの著書。リピーターの心をつかんで離さない地球探検隊の旅と中村隊長の魅力や、人生を豊かに、仕事を面白く楽しくするためにはどうすればいいのか...など、熱いメッセージがこめられている。こう書房/1,470円(税込)



本書を5名の方にプレゼントいたします。お名前、貴社名・部署名、ご住所、電話番号、宛名ラベルに表示されております8桁の登録番号をご記入の上、下記宛先に6月末日までにご応募ください。厳正な抽選の上、当選者ご本人に直接当選の連絡をいたします。なお、社員ならびに関係者は応募できません。

azbilグループPR誌「azbil」を

ご愛読いただき、ありがとうございます。

本誌に関するお問い合わせやご意見、ご希望、ご感想、取り上げてほしいテーマなど、皆さまからのお便りをお待ちしております。お名前、貴社名・部署名、ご住所、電話番号、宛名ラベルに表示されております8桁の登録番号などをご記入の上、下記まで郵送、FAX、電子メールなどでお寄せください。ご住所などの変更に関するご連絡は、宛名ラベルに表示されております8桁の登録番号も併せてお知らせください。

お問い合わせ・プレゼント応募宛先

〒100-6419
東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビル
アズビル株式会社 azbil 編集事務局
TEL:03-6810-1006
FAX:03-5220-7274
E-mail: azbil-prbook@azbil.com

発行日: 2013年 6月 1日
発行: PR誌 azbil 編集事務局
発行責任者: 高橋 実加子
制作: 日経BPコンサルティング

編集後記

バブル期の海外旅行ブームを通り過ぎ、日本人は普通のパッケージツアーに少し飽きてしまったような気がします。バスに乗せられ、おみやげ物屋さんに連れて行かれてというよりは、もっと自由に自分たちの足で歩いて、見て、話して、現地のものに触れたいという旅行が増えました。そして、そんな旅のその先に「地球探検隊」のような旅がある気がします。普通ではなかなか行けないところに自分たちで計画して行きたい!という欲求。私も長く休めれば絶対参加したい!と思う旅です。行きたい! (akubi)

竹富島の海と花の香り (沖縄県竹富町)



竹富島: 周囲9.2km、面積5.42km²の小さな島であるため、島内のどこにいても潮の香りが感じられる。各民家が庭にハイビスカスやブーゲンビリアなどの花を大切に育てている。一年中、鮮やかな色の花が咲き、道行く人を美しさで香りを楽しませてくれる。

沖縄古来の町並みと文化が色濃く残る 四方を海に囲まれた小さな楽園

竹富島は沖縄県の八重山諸島にあり、石垣島から高速船で10分ほどで港に着くことができる。島民は300人余り。3時間もあれば徒歩で1周できてしまうほど小さな島だ。集落に入ると、竹富島が特別な場所であることがすぐに分かる。琉球石灰岩がきれいに積まれた石垣が続き、赤茶色の屋根瓦の伝統家屋が点在する。島民は沖縄古来の町並みや文化を残そうという意識が強く、看板や窓ガラスが目立たない工夫が施され、島全体に美しい景観が保全されている。

道にはサンゴでできた白砂が敷かれ、どの家の前も丁寧に掃き清められているのが印象的だ。庭には色鮮やかなハ

イビスカスやブーゲンビリアの花が目を楽しませてくれる。青い空、白い砂、グレーの石垣、赤茶色の家々、そして赤や黄色の花々。時折、水牛の牛車がのんびりと通り、三線(沖縄の伝統的な弦楽器)の音色が響く。潮や花の香りはさらに南国ムードを盛り上げてくれる。沖縄の豊かな自然と悠久の文化を五感で感じられる稀有な場所だ。

日帰りの観光客が多いが、ぜひ島内に宿泊したい。夜、白砂の道は月明かりに照らされてふわりと浮かび上がり、街灯がない場所でも歩くことができる。しばし都会の喧騒を忘れ、心が洗われるはずだ。

薫り DATA

- 香りの源: 潮、花
- 季節: 一年中
- 所在地: 沖縄県竹富町
- アクセス: 石垣空港からタクシーで石垣港離島ターミナルまで約10分。高速船で竹富島竹富東港へ約10分。

azbil

<http://www.azbil.com/jp/>

2012年4月1日、株式会社 山武は、アズビル株式会社へ社名を変更いたしました。

- 国内
- アズビル ● アズビルトレーディング
 - アズビル山武フレンドリー
 - アズビルあんしんケアサポート
 - アズビルセキュリティフライデー
 - アズビル金門 ● アズビル京都
 - アズビルTACO ● アズビル太信
 - テムテック研究所

海外

- アズビル韓国 ● アズビル台湾 ● アズビル金門台湾
- アズビルベトナム ● アズビルインド
- アズビルタイランド ● アズビルプロダクションタイランド
- アズビルフィリピン ● アズビルマレーシア
- アズビルシンガポール ● アズビル・ベルカ・インドネシア
- アズビルサウジアラビア ● アズビル機器(大連)
- アズビル情報技術センター(大連)
- 山武環境制御技術(北京) ● 北京銀泰永輝智能科技有限公司
- アズビルコントロールソリューション(上海)
- 上海アズビル制御機器 ● アズビル香港
- 上海山武自動機器 ● 中節能建築能源管理有限公司
- アズビルノースアメリカ ● アズビルポルトック
- アズビルバイオビジラント ● アズビルブラジル
- アズビルヨーロッパ ● テルスター

<販売店>

2013 Vol. 3

azbilグループPR誌 azbil (アズビル)

azbil 6月発行号 (通算Vol. 3 No. 44) 国際標準逐次刊行物番号 ISSN 1881-9680



azbilグループは環境に配慮した取組みを推進しています。本誌からの無断転載・複製はご遠慮ください。